

2017 年度「学会論文賞」授賞の報告

医療経済学会では、医療経済・医療政策研究の発展を図るため、2009年に「学会論文賞」が設立されました。

この賞は、医療経済学会雑誌である「医療経済研究」に掲載された研究論文の中から与えられるものであり、賞状のほか副賞として賞金（提供：医療経済研究機構）が贈られます。

2017年度は、以下の論文が受賞され、2018年9月1日開催された医療経済学会 総会にて、医療経済学会 会長 今中 雄一 先生より表彰状が授与されました。また、医療経済研究機構 西村 周三 所長より副賞が贈呈されました。

上野 綾子 先生（衆議院調査局 調査員）

濱秋 純哉 先生（法政大学 経済学部 経済学科 准教授）

「2009 年度介護報酬改定が介護従事者の賃金、労働時間、離職率に与えた影響」

授賞理由：

本論文は、介護報酬の介護従事者の賃金・労働時間・離職率に対する影響について、2009年度改定では東京23区限定の報酬上乘せ分3%があったことを自然実験とみなし、差分の差推定により、外部労働市場の影響をより精緻に排除しようと試みた点が特長である。分析結果の解釈には、データ制約による限界がいくつかあるものの、介護従事者の就労継続性を高めるための政策論議に資する、新たな学術的貢献が行われた点について高く評価し、編集委員会一致で推薦となった。

医療経済学会では、医療経済・医療政策研究の発展を図るべく2009年に学会論文賞が設立されました。また2012年からは、特に若手研究者の研究奨励を図るべく、新進気鋭の若手による論文を受賞対象として選ぶようにしています。このたびの選考でも、論文の質はもとより、若手研究者の意欲的な取り組みが高く評価されています。次年度以降も若手諸氏の意欲的投稿を期待します。

『医療経済研究』編集委員長 橋本 英樹